

杉の子

奥多摩町立氷川小学校
学校便り 7月号
令和5年 6月30日発行



同じ釜の飯を食う

校長 松井 良

5年生は7月13日（木）～15日（土）、6年生は7月25日（火）～27日（木）、どちらも2泊3日の宿泊行事として移動教室に出掛けます。5年生は伊豆でシュノーケリングや地引網などの体験を、6年生は日光で戦場ヶ原を歩いたり、東照宮を見学したりします。奥多摩町としては、2泊3日の宿泊行事を通して、普段学校では学ぶことのできない体験をさせたり、教科書の写真や説明だけでは学び取ることのできないものを学ばせたり、一緒に出掛ける古里小学校の同学年の子たちとの交流を深めさせたりして、子どもにとって大きな学びの機会となるよう宿泊行事を計画しています。

学習指導要領には、「遠足・宿泊的行事」を以下のように書いています。

自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、人間関係などの集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるような活動を行うこと。

先日、ラグビー日本代表チームが9月10日から始まるフランスW杯に向けて千葉県で合宿を開始したと報道されていました。2019年に日本で開催されたW杯では、「ONE TEAM」という言葉がその年の流行語大賞に選ばれるほど注目されました。前回も大会前に長期合宿を行い、チームメイトと寝食を共にする中「ONE TEAM」という心一つに戦う集団が形成されていたのだと紹介されていました。

3月に開催されたWBCでは、侍ジャパン優勝に日本中が沸きました。最年長のダルビッシュ有投手が、宮崎合宿の初日から参加したことが大きく取り上げられていました。一回り以上歳の離れた後輩たちにも積極的にに関わり、チームとしてのまとまりを創りあげることに貢献したと伝えられています。全員参加の食事会で、互いの心の距離を縮めていた様子も報道されていました。ここでも、寝食を共にする中で、優勝を勝ち取るためのチーム力を培っていたようです。

6年生を担任することが多かった私は、宿泊行事の前と後でクラスとしてのまとまりが大きく変わることを毎回実感していました。食事の用意や後片付けで活躍する子、布団を敷いたり畳んだりすることを得意とする子、部屋の整理整頓が上手にできる子、班長や室長として周りの子の面倒を見るのが得意な子、「平素と異なる生活環境」で発揮されたそれぞれのよさや強みが、互いに理解され、自覚され、それぞれが役割に応じた貢献をしていく中で一人一人が高め合い、集団としてのまとまりを生んでいくのです。

宿泊行事から戻った子たちが、「同じ釜の飯を食った仲だから」とクラスメイトとの関係を誇らしげに話し、互いを認め合い、助け合い、励まし合っている、そんな姿を想像しながら準備を進めることが、高学年を担任する頃の楽しみの一つだったと、移動教室を前に懐かしんでいます。

